臺灣日日新報 本日二頁

敵陣に投降勸告

英兵包圍網脱出を焦る

【ビルマ前線○○基地にて中島陸軍報道班員十五日發】テイデイム、トンザンの敵第十七師團に對するわが包圍態勢によつて敵は大混亂に陥つてゐるが十三日わが荒鷲は敵陣上空にその勇姿を現はし「無益なる抵抗を止めよ」と敵兵に武士道的投降勸告文を投下した、この方面でも英軍はインド兵を第一線に駆り立てインド兵を前線に殘し日本軍に抵抗せしめ、自らは包圍網脱出を圖つてゐるので第一線のインド兵は英軍の態度に激昂し、又一方インド國民軍の進撃を知つて戦意全く喪失し國民軍参加の機運が濃厚に動いてゐる

後方遮斷の機迫る

チン丘陵の英主力潰亂

[illegible]

ハカ方面待機部隊 勇躍進撃開始

チッタゴンヒルへ猛進

[illegible]

米英の指揮官鳩首對策協議

【リスボン十四日發同盟】チン丘陵におけるわが日本軍の先制攻撃によつて東南亞細亞軍第十七師の主力は包圍殲滅の危機に直面してゐると傳へられるが、ニューデリー来電によれば東南亞細亞司令部は十四日の戦況公報において日本軍の進出を認め次の如く發表したと言はれる

[illegible]

反英米感情尖鋭化

重慶、印度民衆に影響大

[illegible]

要地十二ヶ所を奪取

[illegible]

十八年度米實收高

62,887,045石

【東京電話】昭和十八年度米實收高は十五日午前十一時農商省から發表されたが、昭和十八年度の實收高は六千二百八十八萬七千四十五石で昨年十月末をもつて發表された第一回豫想收穫高に比し[illegible]

臺灣商工經濟會令施行

須田府農商局長談

[illegible]

一、目的

[illegible]

一、事業

[illegible]

一、設立及解散

[illegible]

一、構成員

[illegible]

一、地區

[illegible]

ベンガル灣要塞線

印度攻略へ有力な足場

[illegible]

木材等の供出促進

けふ全島林務課長會議

[illegible]

八島上陸敵を殲滅

【ラバウル十五日發同盟】十一日朝無慮數隻の上陸用舟艇より成る敵がアドミラルティ諸島マヌス島東端ロレンガウ北方の[illegible]

ヤルート、ミレに來襲

[illegible]

海南島に海鷲邀撃

[illegible]

ラバウルに百機來襲

[illegible]

桂林再び襲ふ

[illegible]

三色旗颯爽國境へ

國民軍の意氣益々軒昂

[illegible]

英誌アラカン敗戰を報ず

[illegible]

重要物資營團買入價格に除外例設く

[illegible]

社説

益々忠誠心を發揮せよ

去る八日決定發表をみた決戦非常措置要綱による高級享樂部面の停止は十日一齊に實施をみたが、本來享樂部面の停止は、東條首相が、いくたびか口をすつぱくして強調してきたやうに、國民の忠誠心の發露を俟つてはじめて完璧を期せられるのであつて、職業從業員の廢止によつて[illegible]することを得ない。

[illegible]

◇

もちろん、[illegible]時と今日とは[illegible]は大いに異る。いまの一時は皇國千年の運命を左右する[illegible]

◇

[illegible]

マライ軍政部長官會議開催

[illegible]

大藏省顧問に賀屋前藏相

[illegible]

駐中華公使に宇佐美珍彦氏

[illegible]

國府不正官吏を死刑

[illegible]

ガイダ氏被爆逝去

[illegible]

米リンチ中佐戰死

[illegible]

人事

[illegible]

けふの官報

[illegible]

主婦之友

必勝防空生活號(定價四十錢)

三月號

購讀は隣組單位で

隣組防空はこれでよいか

指導 東部軍司令部 稻留參謀 竹内課長 警視廳消防部

空襲下の出産と育兒

戰時榮養食と非常食の作方

産報推奬…男子産業服の作方

子供の病氣の應急手當と看護

婦人通勤服と子供通學服

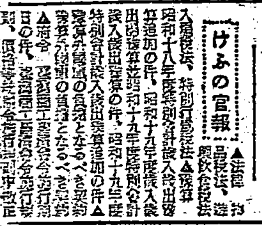
必勝の生産戰

陸軍豫科士官學校短期入校の記 遠藤中將

女船員村を訪問記 女子防空監視

新小説 あと山さき山 堤千代

板額 高木卓



ソロモン地上部隊

(血戰座談會)

東京・小石川・音羽町 株式會社 主婦之友社

臺灣の少女

黄氏鳳姿著

文部省推薦

模型航空機 理論と工作 堀辰巳著

廣東語會話 香取順一 林瓏波 著

北京語對照 廣東語研究 香取順一著

山本五十六 中村喜代三著

濱田彌兵衛 中村喜代三著

船中の殺人 林熊生著

東京・小石川・音羽町 株式會社 東都書籍

國土計畫

季刊 學術雜誌

國土計畫研究所編 第二卷第四號 一圓八十錢

内容目次

卷頭言 日本國土計畫の戰爭體制について

一、經濟地域の研究……諸井貫一

二、通勤問題とその解決方策……堀口大八

三、農工地帶の調査……松本治彦

四、北九州地方計畫の諸問題……赤岩勝美

五、農業地域の課題……大田謙吉

六、大東亞國防圏の精神基礎……野副重次

七、特殊都市造成の方策……加藤一

資料篇

經濟・空間論……研究所編

機械工業における立地進繋……研究所編

執筆者紹介・編輯後記

東京都神田區一ツ橋二ノ五 小學館發賣

何が何でも増産だ
一期作植付を激勵
坂口知事さん脚行

何が何んでも食糧の増産だ……坂口知事は十一日の新莊郡にひきつゞき十三、四日の兩日七堵、基隆、淡水の三郡を巡回、親しく水田に働く女子挺身隊を激勵した、十三日午前九時半、坂口知事は……

頑張って下さい

足を運んで親しく激勵

熱心に働く女子挺身隊

就役してゐるか

英靈安らかに永眠
嚴かに松岡少尉以下合同告別式

北方に南方に……英靈の合同告別式は十五日午前十時より臺北西本願寺に於て嚴修された……

弔詞

憲太郎君語る

父の仇米英を撃つ
神なる父と對面の喜び

昭和十九年三月十五日

轉廢業者に感謝せよ
奉壯團本部から指令

前線の叫びに呼應
振ひ起つ本島少國民
海軍關係工員臺北市で錬成

國民校卒業式
きのふ擧行

勇壯・猛火何ものぞ
學徒消防訓練を見る

敵撃滅へ貯蓄券
懇談打合會開く

『尿の病』と
▽性病―を
『家庭で治す』
薬草の自療法

見事な腕・女速記者
女性は起つ

敵撃滅の首途は近い
海の若櫻・晴れの閲兵分列

海軍軍屬募集

うつかりするな！
"スパイ行爲"少年に捕はる

匡會結成式

軍陣醫學の錬成に
廿六日から陸軍病院で

臺大醫學徒

警官も戰闘帽
臺北州で實施

社會事業費へ
一、二月寄附者

大稻埕方面の
高級享樂措置

臺北州下兵事
主任會議開く

軍援へ寄附

餞別を飛行場建設費へ

行機獻納資金へ獻金者

ラジオ
第一放送
第二放送

今日の映畫

大世界　台劇　新世界　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華劇場　太平館　第三世界　基隆・關陽地區　中央劇場　基隆世界　旭劇場　大和劇場　羅東座　宜蘭座　昇平座　臺灣興行統制會社　國際館　樂座　基隆劇場　新竹の映畫　新竹劇場　有樂館

第七回決算公告

臺灣茶業會社 第四回決算報告

丸三産業株式會社

臺日案內
女中　女ボーイ　洋裁　タイピスト　家政　働く　內職　男子　時計　男子　寫眞　給仕　食堂　菓子　男女　求職　乳兒　結婚　賣家　賣家　空室　家交　賣住　賣電　電池　探犬　洋裁　願書

事務所移轉公告
今般本營團ノ事務所ヲ左記ニ移轉仕候
記
移轉先　臺北市表町二丁目五番地（元牡丹會館）
電話　八、三四二番（總務部經理課）　六、八五五番（總務部）　六、八五六番（業務部）
臺灣食糧營團

守衛を求む
年齡五十歲以上の男子履歷書携帶來園せられたし
臺北市表町二丁目八番地
臺灣住宅營團

工員養成所講習生募集
一、採用人員　線路科　三十名　機械科　二十名　無線科　二十名
一、資格
一、養成期間
一、申込期間
一、申込場所
一、詮衡期日
一、待遇
昭和十九年三月十六日
臺灣總督府交通局遞信部

技能者養成所生徒募集期日延期
當養成所生徒募集期日ヲ都合ニ依リ左ノ通變更ス
一、願書締切　四月十三日
一、入所試驗　四月十六日
一、發表　四月二十日
一、入所　四月二十五日
株式會社大同鐵工所技能者養成所

南方發展史
海の豪族
嵐寛壽郎、澤村國太郎
日本ニュース一九五號
十六日ヨリ一〇セ　新世界
合同興行

獅子文六の『おばあさん』松竹映畫作品
飯田蝶子の『おばあさん』『主婦之友』連載中
原研六の『おばあさん』
おばあさん
飯田蝶子・高峰秀子・德川夢聲
本十六日封切 九〇セン共　大世界

昭和十八年三月十九日　高千穗丸ニテ殉難セシ

臺北第一師範學校生徒　川原邦人
臺北第一師範學校生徒　松尾修
臺北第一師範學校生徒　松浦伸輔
臺北第一師範學校生徒　原三郎
臺北第一中學校生徒　小野昭二
臺北第一中學校生徒　中村眞典
臺北第一中學校生徒　甲田基典

ノ合同告別式ヲ來ル三月十九日午前十時ヨリ臺北一中講堂ニ於テ神式ヲ以テ相營ミ可申候間生前ノ御厚誼ヲ深謝シ御通知ニ代へ此段謹告仕リ候也

昭和十九年三月十六日

遺族總代
父　川原靜夫
父　松尾敏一
父　松浦重千代
父　原逸策
父　小野誠一
父　中村稔秀
父　甲田盛夫

會葬御禮　外一同
幸田彬成